

# G 2 0 福岡会合について

令和元年6月14日

財務省国際局

# G20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議



## 2019年6月8日（土）

08:30-11:45	国際租税に関する大臣級シンポジウム	ヒルトン福岡シーホーク
12:30-15:30	金融技術革新の活用にかかるハイレベルセミナー	ヒルトン福岡シーホーク
13:00-15:30	コーポレートガバナンスにかかるセミナー	ヒルトン福岡シーホーク

### G20財務大臣・中央銀行総裁会議

14:00-15:30	セッション1	開発金融 (低所得国の債務問題等)	ヒルトン福岡シーホーク
15:45-17:30	セッション2	世界経済	
18:00-22:00	文化プログラム及び夕食会		舞鶴公園／福岡市美術館

## 2019年6月9日（日）

09:00-10:30	セッション3	国際租税 (デジタル課税等)	ヒルトン福岡シーホーク
10:45-12:00	セッション4	グローバルインバランス	
12:00-14:15	セッション5	高齢化と政策課題	
14:15-15:30	セッション6	インフラ投資	
15:30-17:00	セッション7	金融セクター	
17:45-18:30	議長国記者会見		

## I. 世界経済－リスクと課題

- (A) 世界経済リスクのサーベイランス
- (B) グローバル・インバランス問題への対処
- (C) 高齢化の課題・政策対応

## II. 成長力強化のための具体的取組

- (D) 質の高いインフラ投資
- (E) 自然災害に対する強靱性の強化
- (F) 途上国におけるUHC（Universal Health Coverage）ファイナンスの強化
- (G) 低所得国における債務透明性の向上及び債務持続可能性の確保

## III. 技術革新・グローバル化がもたらす経済社会の構造変化への対応

- (H) 国際租税
- (I) 金融市場の分断を回避する国際的な連携・協力
- (J) 金融セクターにおける技術革新－機会と課題

# (参考)2019年日本議長下のG20における招待国・機関

G20参加国			
• アルゼンチン	• オーストラリア	• ブラジル	• カナダ
• 中国	• フランス	• ドイツ	• インド
• インドネシア	• イタリア	• 日本	• メキシコ
• 韓国	• ロシア	• サウジアラビア	• 南アフリカ
• トルコ	• イギリス	• アメリカ	• 欧州連合
財務トラック招待国			
• チリ	• エジプト	• オランダ	• セネガル
• シンガポール	• スペイン	• <u>スイス</u>	• タイ
• ベトナム			
財務トラック招待国際機関			
• アジア開発銀行 (ADB)	• <u>国際決済銀行 (BIS)</u>	• <u>金融活動作業部会 (FATF)</u>	• 金融安定理事会 (FSB)
• <u>グローバル・インフラストラクチャー・ハブ (GIH)</u>	• 国際通貨基金(IMF)	• 経済協力開発機構 (OECD)	• 国際連合 (UN)
• 世界銀行(WB)			

※下線部分は財務トラックでのみ招待の国・機関

# 福岡G20財務大臣中央銀行総裁会議の結果(1/3)

## 世界経済の評価

- ◆ 世界経済は、**足元で安定化の兆し**。本年後半及び2020年に向けて**緩やかに上向く見通し**。
- ◆ この回復は、**緩和的な金融環境の継続**や、中国等の**経済対策の奏効**等によってもたらされている。リスクは下方に傾いており、何よりも、**貿易と地政を巡る緊張が増大**。これらのリスクに対処し続けるとともに、**更なる行動をとる用意**。
- ◆ **貿易が成長の重要な原動力**であることを強調。貿易に関する**ブエノスアイレス首脳合意を再確認**。国際的な協力や枠組みを強化するために、引き続き**共同行動をとる**。
- ◆ **為替相場**については、これまでと同じ**コミットメントを再確認**。

## グローバル・インバランス

- ◆ **対外収支の評価には、全ての構成要素（サービス収支や所得収支を含む）に着目する必要**。
- ◆ 経常収支は、**国内経済状況及び海外からの波及効果**を反映。有益な不均衡もある一方、世界経済の健全な成長へのリスクとなる不均衡もある（**過剰な法人貯蓄、誤った財政政策、財・サービス分野の貿易障壁**）。
- ◆ 協力推進の精神に則り、経常収支不均衡への対処には、各国の経済状況に応じた**マクロ経済政策・構造改革**が必要であることを確認。  
( = **二国間の貿易措置**では経常収支不均衡は解消しない。 )

## 高齢化

## 金融包摂に関する「G20福岡ポリシー・プライオリティ」

- ◆ 高齢化の度合いに応じた3グループでの分科会（G20初）
- ◆ 高齢化は、**財政・金融政策・金融システム等の広範な分野に政策インプリケーションを与える**。

# 福岡G20財務大臣中央銀行総裁会議の結果(2/3)

## 質の高いインフラ投資

## 「質の高いインフラ投資に関するG20原則」

- ◆ 成長と開発への正のインパクトの最大化、ライフサイクルで見た経済性、環境社会配慮、自然災害等に対する強じん性のほか、**インフラ・ガバナンス**を原則の一つに掲げる。
- ◆ 日本が主張してきた「**開放性**」「**透明性**」「**経済性**」「**債務持続可能性**」を原則の諸要素として盛り込み。

## 低所得国の債務問題

- ◆ 債務透明性の向上・債務持続可能性の確保のためには、**債務国及び債権者（公的・民間）双方による協働**を推進していく重要性を再確認。
- ◆ **債務国**の債務脆弱性への対処に向けた**IMFと世銀の取組**（キャパビルなど）の継続的な実施を歓迎。
- ◆ **公的債権者**による持続可能な貸付に関する自己評価の完了を歓迎。（**G20で15か国、その他5か国**）
- ◆ 国際金融協会（IIF）による、**民間債権者**が参照する「債務透明性のための任意の原則」の取組を支持。

## 途上国におけるUHCファイナンス

## 「UHCファイナンス強化の重要性に関するG20共通理解」

- ◆ 途上国におけるUHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）の達成に向けた、**財務省と保健省の協働**、国内資金の活用、経済発展の早い段階でのUHCの追求の重要性等を含む共通理解へのコミットメントを確認。
- ◆ 大阪サミットのマージンで開催される**財務大臣・保健大臣合同セッション**（G20初）に期待。

## 自然災害に対する強じん性

- ◆ **災害リスクファイナンス・保険スキームの重要性を認識。**

# 福岡G20財務大臣中央銀行総裁会議の結果(3/3)

## 国際租税

## 「デジタル課税に関する解決策に向けた作業計画」

- ◆ **デジタル課税に関する解決策**を2020年までに合意すべく、相互補完的な「**2つの柱**」を設定。
  - ① 多国籍デジタル企業などが物理的拠点（PE）なく活動する市場国にも、課税権を配分するための国際課税原則の見直し
  - ② 軽課税国への利益移転に対し、最低税率による課税を実質的に確保するルールを導入
- ◆ デジタル課税等の諸課題を議論する、**国際租税に関する大臣級シンポジウム**を開催。
  - 11か国の財務大臣等とグリアOECD事務総長が参加。

## 金融セクター

- ◆ 各国の規制・監督上の齟齬や重複等によって生じた「**金融市場の分断**」に、規制・監督上の協力等により、対処していくことに合意。
- ◆ **技術革新**が金融セクターにもたらす「**機会とリスク**」を議論。
- ◆ **暗号資産**について、マネロン・テロ資金供与対策に関するコミットメントを再確認。また、新たに投資家・消費者保護策に関する作業を歓迎。
- ◆ **分散型金融技術**の便益を十分に引き出すための議論を開始。

## (参考)過去の首脳宣言・コミュニケの抜粋

### 貿易：G20ブエノスアイレス首脳宣言(2018年11月30日・12月1日)

27. 国際的な貿易及び投資は、成長、生産性、イノベーション、雇用創出及び開発のための重要なエンジンである。我々は、このために多角的貿易体制が果たしてきた貢献を認識する。この体制は、現在、その目的を達成するには及ばず、改善の余地がある。したがって、我々は、WTOの機能を改善するために必要な、WTO改革を支持する。我々は次回のサミットにおいて進捗をレビューする。

International trade and investment are important engines of growth, productivity, innovation, job creation and development. We recognize the contribution that the multilateral trading system has made to that end. The system is currently falling short of its objectives and there is room for improvement. We therefore support the necessary reform of the WTO to improve its functioning. We will review progress at our next Summit.

### 為替相場：20か国財務大臣・中央銀行総裁会議声明(2018年3月19-21日)

強固なファンダメンタルズや健全な政策、強靱な国際通貨システムは、為替レートの安定に不可欠であり、強固で持続可能な成長や投資に貢献する。柔軟な為替レートは、場合によっては、ショックを吸収するものになりうる。我々はまた、為替レートの過度な変動や無秩序な動きが、経済及び金融の安定に対して悪影響を与え得ることを認識する。我々は、通貨の競争的切下げを回避し、競争力のために為替レートを目標としない。

Strong fundamentals, sound policies, and a resilient international monetary system are essential to the stability of exchange rates, contributing to strong and sustainable growth and investment. Flexible exchange rates, where feasible, can serve as a shock absorber. We recognise that excessive volatility or disorderly movements in exchange rates can have adverse implications for economic and financial stability. We will refrain from competitive devaluations, and will not target our exchange rates for competitive purposes.